2023年10月1日礼拝説教要約

キリストが賛美をもたらした

（イザヤ12・1〜6）

一、イザヤ書に聞く

1節をご覧ください。**〈その日、あなたは言う。「主よ、感謝します。あなたは私に怒られたのに、あなたの怒りは去り、私を慰めてくださったからです。」〉**とあります。**〈その日〉**は、その前の11章で語られた内容を受けて語られています。

11章では、ダビデ王朝でありながら新しい理想的な王（メシア）が出現し、その上に主の霊がとどまるとの預言が記されています。さらに、イスラエルの民がその不信仰のゆえに神からさばかれ、世界に散らされるものの、残りの者があがなわれ、地の四隅から集めると語られています。こういう前後関係があって**〈その日、あなたは言う。……〉**と続くわけです。

もう少し詳しく見てまいります。1節1行目をご覧ください。**〈その日、あなたは言う。〉**とあります。これと似たことばが4節1行目に出てまいります。**〈その日、あなたがたは言う。〉**と。1節の**〈あなた〉**と4節の**〈あなたがた〉**のちがいは何なのでしょうか。おそらく1節は、預言者イザヤ自身に語られたことばで、4節以降は、イスラエル全体に語られたことばです。

1節をさらに細かく見てまいります。**〈その日、あなたは言う。〉**とあります。「その日」、すなわち神がメシアを遣わされる日に、あなた（＝預言者イザヤ）は言う、と主はおっしゃいました。2行目です。**〈「主よ、感謝します。〉**と。そして3行目ですが、原文では「なぜなら」を意味する前置詞があります。ゆえに、**〈その日、あなたは言う。「主よ、感謝します。〔なぜなら〕あなたは私に怒られたのに、あなたの怒りは去り、私を慰めてくださったからです。」〉**の意味になります。そして2節です。**〈見よ、神は私の救い。私は信頼して恐れない。ヤハ、主は私の力、私のほめ歌。私のために救いとなられた。〉**とあります。読んでお分かりのように、主が救いをもたらされたと強調されています。**〈救い〉**が、2回も出てくるからです。また2節も3行目に「なぜなら」を意味する前置詞があります。ですから、**〈見よ、神は私の救い。私は信頼して恐れない。〔なぜなら〕ヤハ、主は私の力、私のほめ歌。私のために救いとなられた〔からです〕。〉**の意味になります。

ところが2節の意味は、もっと深いことが分かります。3行目、4行目の**〈ヤハ、主は私の力、私のほめ歌。私のために救いとなられた。〉**ですが、ここは、出エジプト記からの引用であることが分かっています。出エジプト記15章2節です。**〈主は私の力、また、ほめ歌。主は私の救いとなられた。〉**とあります。エジプトから脱出したイスラエルの民を、ファラオが率いるエジプトの軍勢が追いかけて来て、絶体絶命のピンチに陥った際に、イスラエルの民が葦の海の渇いた所を渡り終え、海の水が元に戻り、ファラオの全軍が死亡したという箇所です。その時、モーセとイスラエルの民が、**「主は私の力、また、ほめ歌。主は私の救いとなられた」**と歌ったと記されています。と言うことは、預言者イザヤは、イスラエルに起きることと、主がイスラエルの民をエジプトから救われたこととを重ねて見たことが分かります。だからこそ2節の始めで、**「見よ、神は私の救い。私は信頼して恐れない。」**と語りました。

二、イザヤが見た新しい時代

その先を見てまいります。3節です。**〈あなたがたは喜びながら水を汲む。救いの泉から。〉**とあります。3節以降はイスラエルの民に向けて語られたことばです。新しい時代の到来が語られています。主が遣わされる理想的な王、メシアがやって来てからのことです。その日の喜びが、4節に記されています。預言者イザヤは何を思ったのでしょうか。イスラエルの回復です。イザヤの時代、南王国ユダはまだ滅ぼされていませんでした。しかし国の中には「罪」が蔓延し、すなわち「不信仰」が蔓延し、たいへんな状態だったようです。そうではあってもイザヤは、この地が回復するという、主からの預言のことばを聞き、それを語りました。ですが、イザヤが見たイスラエルの回復された姿は、イザヤが自分の足を置いているエルサレムの回復でした。6節を見ると分かります。ところが神がなさったことは、預言者たちが思っていたことをはるかに超える出来事でした。それが何であったのかと言えば、神がイエス・キリストを遣わされた出来事でした。

三、賛美はキリストがもたらした

4節に**〈その日、あなたがたは言う。「主に感謝せよ。その御名を呼び求めよ。そのみわざを、もろもろの民の中に知らせよ。御名があがめられていることを語り告げよ。〉**とあります。**〈みわざ〉**とは何でしょうか。イスラエルの回復です。もう少し正確に言うなら、イスラエルの残りの民の回復です。ですが神は、預言者イザヤに示されたことよりも大いなることをなさいました。それは主イエス・キリストを信じるだけで、目に見えない神の国が到来することです。**〈エペソ1・3神はキリストにあって、天上にあるすべての霊的祝福をもって私たちを祝福してくださいました。〉**というみわざです。**〈私たち〉**とは、文字通り「私たち」のことで、主イエス・キリストを信じるすべての人たちです。